

B—92 和服の歩行におよぼす影響  
—エネルギー消費量からみて—

東京家政学院短大 岡野 和子  
○高田 幸枝

1. 本研究は同一被検者に和服と洋服を着用させて、歩行運動を行なわせ、その際のエネルギー消費量を測定して、両者の歩行におよぼす影響を比較検討することを目的としている。

2. 被検者には健康な青年女子3名を選んだ。被検者に和服あるいは洋服を着用させ、80m/分の速度のトレッドミル歩行を10分間行なわせた。

歩行前、中、後期にわたって、ダグラスバッグによる呼気採集を行ない、労研式ガス分析器による呼気分析をした。同時に胸部導出による心電図、サーミスター法による呼吸曲線を記録した。

これらの結果から、換気量、酸素摂取量、エネルギー消費量、R.M.R.、心拍数、呼吸数などを求めた。

3. 以上の実験により歩行時のエネルギー消費量は、スーツ、運動着着用時に比較して、和服着用時に大であることがわかった。